

質問

49歳の女性です。乳がんと診断され、通院での抗がん剤治療を行つことになりました。副作用として吐き気がある



答え

抗がん剤治療による吐き気や嘔吐は、抗がん剤が脳(延髄)にある嘔吐中枢と



三木 幸代

徳島大学病院外来 化学療法室看護師長

抗がん剤での吐き気が心配

適切な対策で症状軽減

吐き気や嘔吐の症状の現れ方として▽抗がん剤治療の開

吐き気や嘔吐を 起こしやすい人

- ・女性
・50歳以下
・アルコールの常用なし
・乗り物酔いしやすい
・妊娠中つわりがひどかった
・副作用への不安が強い
・生活での活動量が少ない
・治療前に多飲食している
・治療前の睡眠が少ない
・前治療で吐き気・嘔吐がひどかった

徳島がん対策センター http://www.toku-gantaisaku.jp/

ン、アルキル化剤のシクロロオスファミドが強い吐き気や嘔吐を起しますが、日本癌治療学会の制吐薬適正使用ガイドラインに、その対策がきちんと示されています。

質問募集 がんに関する悩みに「徳島がん対策センター」がお答えします。質問内容を詳しく書き、住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記し、〒770-0857 徳島新聞社文化部「がん相談」係へ。紙上に住所、氏名、電話番号は掲載しません。同センター(電088(633)9438)でも平日午前8時半〜午後5時に受け付けています。

始直後から24時間以内に起こる「急性嘔吐」▽治療後24時間以降に始まり、2〜3日目が最も強く7日間程度続く「遅発性嘔吐」▽吐き気や嘔吐への不安や恐怖から起こる「予測性嘔吐」の三つのタイプがあります。予測性嘔吐は、過去に抗がん剤治療を受け、嘔吐でつらい経験をした人に多くみられる傾向があります。また、患者側の要因としては、男性よりも女性に吐き気や嘔吐が多いほか▽50歳以下▽飲酒が少ない▽乗り物酔いしやすい▽妊娠中つわりがひどかった一人らに起こりやすいと報告されています(表参照)。しかし、つわりがひどかったからといって、必ずしも吐き気が強く出るとは限らず、適切な予防と対策で症状を軽減することができます。乳がんの抗がん剤治療では、アントラサイクリン系のドキシルビシンやエピルビシ

また、患者側の要因としては、男性よりも女性に吐き気や嘔吐が多いほか▽50歳以下▽飲酒が少ない▽乗り物酔いしやすい▽妊娠中つわりがひどかった一人らに起こりやすいと報告されています(表参照)。しかし、つわりがひどかったからといって、必ずしも吐き気が強く出るとは限らず、適切な予防と対策で症状を軽減することができます。乳がんの抗がん剤治療では、アントラサイクリン系のドキシルビシンやエピルビシ